

志賀原子力発電所 2号機 使用済燃料貯蔵プール内での チャンネルファスナの落下について

平成21年8月13日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 2号機（沸騰水型、定格電気出力120.6万キロワット）は、7月10日より第2回定期検査を実施中です。

昨日（8月12日）23時ごろ、原子炉建屋5階の使用済燃料貯蔵プールにおいて、燃料集合体にチャンネルボックス¹を装着する作業を実施していたところ、プール内で、作業に用いる工具がチャンネルファスナ²の収納容器に接触し、収納容器の底蓋が開いたため、チャンネルファスナ7個がプールの底面などに落下しました。

チャンネルファスナ1個が、チャンネル着脱機（B）上の燃料集合体の近くに落下しましたが、外観点検を行なった結果、燃料集合体にチャンネルファスナ落下による影響はありませんでした。残りの6個については、燃料集合体から離れた位置に落下しています。

本事象による使用済燃料貯蔵プールの冷却機能への影響はありません。
また、外部への放射能の影響もありません。

落下したチャンネルファスナは、準備が整い次第、回収する予定です。

原因は、目測を誤って工具を移動経路近くにあった収納容器に接触させたためであり、今後は、収納容器の配置位置の変更など作業管理の改善を行ってまいります。

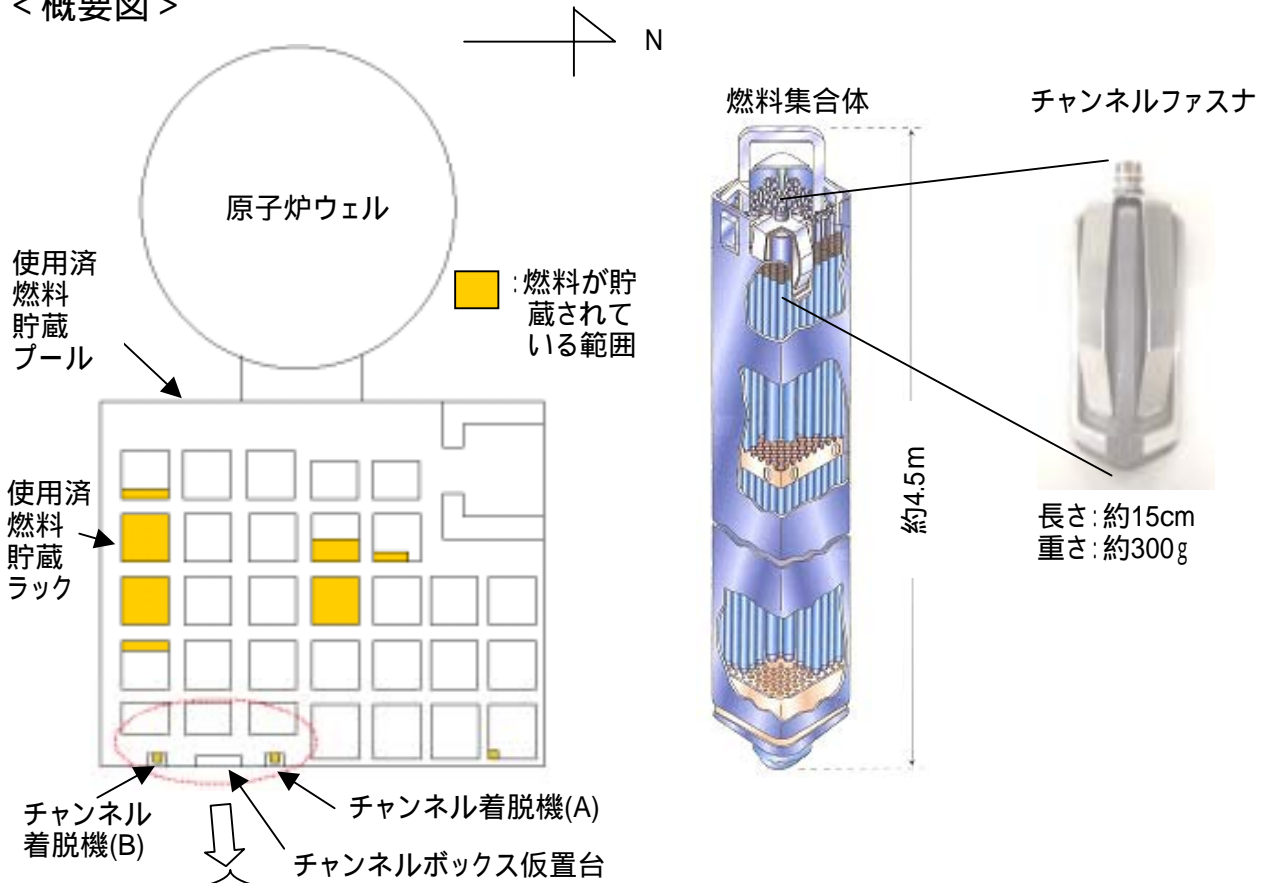
本件は、法律及び安全協定には該当しませんが、石川県および志賀町と締結している連絡基準に係る覚書に基づき、本日、当該自治体に連絡しました。

以 上

添付資料：チャンネルファスナ落下位置図

- 1 チャンネルボックス
燃料集合体の外側に取り付けられているカバー
- 2 チャンネルファスナ
燃料集合体とチャンネルボックスを接続している金具

< 概要図 >



< 拡大図 >

